福島	工業高等	等專門学校	開講年度 令	和06年度 (202	24年度)	授業科目	化学				
科目基础	 楚情報										
科目番号 0030				科	·目区分	一般 / 必修	<u> </u>				
授業形態 講義					位の種別と単位数						
			 バイオ工学科		象学年	2					
開設子科 1七子・ハイフエ子科 開設期 通年					週時間数 2						
<del>加政规</del> 教科書/教				<u>                                    </u>	VKmlr	<u> </u>					
双科音/教 担当教員	עוא	三上進									
	<del></del>	工工 進	<u> </u>								
到達目標	-		1548 <del></del> 11 25-	"		_ W 55 ·		IMA II . A III	WT-1		
、各グル-	-プの性質	できる。② を説明でき	状態変化、平衡、エネルキ る。 ⑤有機化合物の構造 <sup>。</sup>	ニーなどを理解でき を理解し、各異性	きる。③無機物質の 体の構造を書くこ	の性質を理解でき ことができる。	きる。④有 ————	機化合物の分 	類を理解!		
ルーブリ	ノック										
			理想的な到達レベルの		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安				
評価項目:	1		各授業項目の内容を引	理解し、応用  各	各授業項目の内容を理解している		各授業項目の内容を理解してい				
	小牛口抽.	ED LAE		0	١٠٠,						
		<u>頃目との</u> [	<b>判1</b> 希								
	育到達度目	標 (B)									
教育方法	去等										
概要		化学的	な事物・現象について基本	的な概念や原理・	法則の理解を深る	め、科学的な自然	<b>然観を養う</b>	0			
授業の進ん	め方・方法	試験は、	前・後期の中間・期末と	もに50分間で実施	色する。	==/=-	CO FINE :				
,		正期試験	験80%、実験レポート・/								
注意点		物質の   けかく	性質・製法・用途など,身 ,考えて答えを導けるよう	ł近な生活の例に照 にする	らし合わせて理解	解することが大切	川である。	また,ただ暗	記するの		
				/IC ヺ つ) o							
		<u>修上の区分</u> - > 1		Т	\±1=1=2# : 1 ±		I	75A ~ + = +**			
□ アクラ	-ィブラー:	ニング	□ ICT 利用		遠隔授業対応		□ 実務網	経験のある教	真による抗		
授業計画	—										
		週	授業内容		過	ごとの到達目標					
		1週	状態変化・物質の三態		蒸	気圧, 気液平衡,	蒸気圧曲約	泉, 状態図			
		2週	固体の構造(1)			化学結合と結晶,結晶格子,単位格子					
		3週	固体の構造(1)			充填率, 結晶の構造, アモルファス					
		4週	気体の性質(1)			気体の性質, ボイル・シャルルの法則					
	1stQ	5週	気体の性質(2)	• • •			気体の状態方程式				
		6週		溶液(1)			溶解、溶解の仕組み				
		7週	溶液(2)		浴	溶解度, ヘンリーの法則					
前期		8週	中間試験								
133743		9週	溶液(3)			希薄溶液の性質, 蒸気圧降下, 沸点上昇, 凝固点降下					
		10週	溶液(4)		浸	浸透圧, ファントホッフの法則					
		11週	溶液(5)		⊐	コロイド溶液とその性質					
	2nd0	12週	化学反応と熱・光エネル	反	反応熱, 熱化学方程式, 様々な反応熱						
	2ndQ	13週	化学反応と熱・光エネル	ギー(2)	^	へスの法則, 生成熱と反応熱					
		14週		と学反応と熱・光エネルギー(3)			化学反応と光エネルギー				
		15週	実験	• •	希	薄溶液の性質					
		16週	前期のまとめ		前期の総まとめ						
	1	1週	電池と電気分解		電池, 電気分解						
		2週	反応の速さとしくみ(1)			反応の速さ, 反応速度と濃度					
		3週									
			反応の速さとしくみ(2)								
	3rdQ	4週	化学平衡(1)			可逆反応と不可逆反応, 化学平衡					
		5週	化学平衡(2)			化学平衡の法則					
		6週	化学平衡(3)			化学平衡の移動					
後期		7週	無機物質(1)			非金属元素, 水素, 希ガス, ハロゲン					
		8週	中間試験								
	4thQ	9週	無機物質(2)	ア	アルカリ金属, アルカリ土類金属						
		10週	無機物質(3)		遷	遷移元素とその化合物					
		11週	無機物質(4)		金	金属イオンの分離と確認					
		12週	有機化合物(1)		有機化合物の特徴と分類						
		13週	有機化合物(2)			代表的な脂肪族化合物					
		14週	有機化合物(3)			代表的な芳香族化合物					
		15週	` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` `								
			実験			後期の総まとめ					
		16週	後期のまとめ	<del></del>	後	州の総まどめ					
	コアカリ:	チュラムの	の学習内容と到達目標	₩							
		l l	1					1			
<u>モアル_</u> 分類		分野		内容の到達目標 ルの法則、シャル				到達レベル	授業週		

				気体の状態方程式できる。	を説明でき、気体の	)状態方程式を使っ	た計算が	3	前5
					子の数を見積もるこ えることができる。	ことができ、価電子	から原子	3	後7,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14
				元素の性質を周期。	表(周期と族)と周期	<b>津から考えること</b>	ができる	3	後7,後9,後 10,後11
				電離について説明	でき、電解質と非電	<b>電解質の区別ができ</b>	·る。	3	前6,前9,前 10
				質量パーセント濃/ できる。	度の説明ができ、質	質量パーセント濃度	の計算が	3	前7
				モル濃度の説明が	でき、モル濃度の記	†算ができる。		3	前7
				実験の基礎知識(安全防具の使用法、薬品、火気の取り扱い、整理整頓)を持っている。				3	前15,後14
				事故への対処の方法 対応ができる。	法(薬品の付着、引	火、火傷、切り傷)	を理解し	3	前15,後14
				測定と測定値の取	り扱いができる。			3	前15
				有効数字の概念・測定器具の精度が説明できる。				3	前15
		化学実験	化学実験	レポート作成の手	順を理解し、レポー	- 卜を作成できる。		3	前15,後15
				ガラス器具の取り	扱いができる。			3	前15,後15
				基本的な実験器具 ができる。	に関して、目的に応	びじて選択し正しく	使うこと	3	前15,後15
				試薬の調製ができ	る。			3	前15,後15
				代表的な気体発生の実験ができる。				3	後10,後11
				代表的な無機化学	反応により沈殿を(	Fり、ろ過ができる	0	3	後15
評価割合									
	試験		課題等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合詞	†
総合評価割合	80		20	0	0	0	0	100	)
基礎的能力	80		20	0	0	0	0	100	)
専門的能力	0		0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	b 0		0	0	0	0	0	0	